

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

【専門科目】 【社会科教育専攻】

解答上の注意

1. 社会科教育専攻の入学試験問題は、問題Ⅰ～問題Ⅳまであります。

出願時に届け出た研究指導・指導教員により、下記の表の解答すべき問題に答えなさい。

志願票に記入した研究指導名	志願票に記入した指導教員名	解答すべき問題
社会科教育研究指導	池 俊介	問題Ⅰ－A・問題Ⅱ
社会科教育研究指導	近藤 孝弘	問題Ⅰ－B・問題Ⅱ
歴史学研究指導	高木 徳郎	問題Ⅲ－A・問題Ⅳ
歴史学研究指導	大橋 幸泰	問題Ⅲ－B・問題Ⅳ
歴史学研究指導	三村 昌司	問題Ⅲ－C・問題Ⅳ
歴史学研究指導	岡本 隆司	問題Ⅲ－D・問題Ⅳ
歴史学研究指導	石濱 裕美子	問題Ⅲ－E・問題Ⅳ
歴史学研究指導	堀越 宏一	問題Ⅲ－F・問題Ⅳ
歴史学研究指導	小森 宏美	問題Ⅲ－G・問題Ⅳ
地理学研究指導	久保 純子	問題Ⅲ－H・問題Ⅳ
地理学研究指導	箸本 健二	問題Ⅲ－I・問題Ⅳ
地理学研究指導	山内 昌和	問題Ⅲ－J・問題Ⅳ
政治学研究指導	遠藤 美奈	問題Ⅲ－K・問題Ⅳ
経済学研究指導	熊谷 善彰	問題Ⅲ－L・問題Ⅳ
社会学研究指導	若林 幹夫	問題Ⅲ－M・問題Ⅳ
社会学研究指導	野上 元	問題Ⅲ－N・問題Ⅳ
メディア・コミュニケーション学研究指導	新藤 雄介	問題Ⅲ－O・問題Ⅳ

2. 解答すべき問題以外を解答した場合、当該解答は「0点」となります。
3. 解答用紙の所定欄に、「問題番号」（例：「Ⅰ－A」・「Ⅲ－A」など）を必ず記入すること。
また、全ての解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
4. 解答用紙は、「問題番号」別に使用すること（一つの問題で一枚使用）。
5. 解答用紙のホッチキスは、はずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
6. 問題用紙は「7枚」（本ページ含む）、解答用紙は「2枚」です。必ず枚数を確認すること。

以 上

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

問題Ⅰ 社会科教育研究指導の志願者は、表紙を参照のうえ、教員別に指定された A または B を選んで答えなさい。

I-A (社会科教育研究指導 1)

地理教育で育成しうる専門的コンピテンシーと教科横断的な一般的コンピテンシーの内容について述べなさい。

I-B (社会科教育研究指導 2)

様々な学問分野の成果をもとに教科を構成する際、過度の単純化等により不正確な内容が入り込むことは稀ではない。この問題をどう考えれば良いかについて、中等教育段階の歴史教育または公民教育の例をあげて述べなさい。

問題Ⅱ 社会科教育研究指導の志願者は、次の a～h から 1 問を選んで答えなさい。

Ⅱ-a (日本史) 民衆史と社会史について、これらの潮流が第二次大戦以降の日本の歴史学界に登場したことの意味を含め、日本史の研究にそくして論じなさい。

Ⅱ-b (東洋史) 東洋史学における時代区分論の経緯と特色を論じなさい。

Ⅱ-c (西洋史) 環大西洋革命とはなにか。その概略と歴史的意義を説明しなさい。

Ⅱ-d (地理学) 現代日本の防災を検討する上で必要になると考えられる日本の地理的特徴を説明しなさい。

Ⅱ-e (政治学) 国と地方公共団体の関係について、憲法学の視点から論じなさい。

Ⅱ-f (経済学) 為替レートの決定に関する理論を複数あげ、2010 年代以降の為替市場に対する説明力を比較しなさい。

Ⅱ-g (社会学) 「階級・階層」と「文化」の関係について、現代日本社会の具体的な事例をあげて論述しなさい。

Ⅱ-h (メディア・コミュニケーション学)

現在のメディア環境が、以前のメディア環境とどのように異なるかについて、情報技術の観点を含みながら具体例を挙げつつ論述しなさい。

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
〔専門科目〕 〔社会科教育専攻〕

問題Ⅲ 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学、メディア・コミュニケーション学の各研究指導の志願者は、表紙を参照のうえ、A～Oの中から教員別に指定された問題を選んで答えなさい。

Ⅲ-A (歴史学研究指導 日本史1)

次の史料を読み、下記の問いに答えなさい。

十三日、乙酉、晴、此日寅刻、太上法皇崩御于六条西洞院宮、御年六十六、鳥羽院第四皇子、御母待賢門院、二条・高倉両院父、六条・先帝・当今三帝祖、保元以来四十余年治天下、寛仁凜性、慈悲行世、帰依仏教之徳、殆甚於梁武帝、只恨忘延喜・天曆之古風、(中略)未明右大臣及資実告事一定之由、即着直衣衣冠参、以泰経卿申入両女院、以資実触二品、小事右大臣出来、語御臨終之間事、(中略)右大臣云、昨日謁、便宜奏諒闇及議之由、雖無殊勅答、天氣似宜云々、暫而左大将参入、又左大臣参入、余内々示合諒闇之間事、有服膺之氣、召宗頼朝臣、仰非父子之間、有諒闇之例可問之由、即又仰可参内裏之由了、先是職事等参入、皆令参内裏了、已刻余退出、参内大将相伴、大外記・両大夫史等参入、各仰勸文事、宗頼於弓場殿迎仰之、余参朝餉、小時退直蘆、披諒闇記、抄出当惡事等、大将相共抄之、此間左内両府参入、直衣、左大臣於院御所可被参内之由、面触也、内大臣命其子忠季朝臣令告之、其使逢路頭云々、両府共坐御殿南広庇云々、未刻、余参御所、宗頼朝臣持来師尚朝臣・師直・広房等勘例、見了返給、余出鬼間招両府、(中略)、余示合可有諒闇否事、左大臣云、承和例符合之上、大治上皇着御一年之服、若為帝王者、諒闇無疑、祖孫之間、其例如此、況当今伝国之間、法皇之恩難被謝、以此等之儀思之、尤可有諒闇歟

* 諒闇…天皇が服する喪のうち最も重いもの

* 服膺之氣…他人の意見をしっかり聞く姿勢

- (1) 全文をすべて平仮名で読み下しなさい。
- (2) 全文を現代日本語に翻訳しなさい。
- (3) ここで話題になっている「太上法皇」が行った政治の特質について、その歴史的意義をふまえて論じなさい。

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

Ⅲ-B（歴史学研究指導 日本史2）

次の史料は、文化13年頃、武陽隠士の署名で著された『世事見聞録』の一部である。この著者の政治認識について、当該期の状況と関係づけながら論じなさい。

天下国家を治むる職分は民を安んずるにあり。民を安んずるは窮民を救ふにあり。窮民を救ふの心を失ひては天下を治むる職分を失ふなり。桀紂天下を失ふは民を失ふが故なり、民を失ふは心を失ふが故なりとはこれをいふなり。よくよく心を用ゆべきなり。（中略）しかるに当世の国政には、前にいふごとく、民の喜ぶ事はさらになく、猥りに虐政を施し万民の愁苦悲歎の責めに逢ふも弁へず、離散及び飢渴屈死するも知らざるなり。依つて暴風・洪水・地震・火災・飢饉・疫癘など起り、あるいは子孫短命、先祖の血脈断絶、そのほか種々の凶災降るといへども、国主・領主たる人、その過ちの元を知らず、俄に諸神諸仏に祈るといへども、さらにその験なし。これ窮民に仁政あらば右体の天災も降るまじきか。天に先達つて違はざるの政を施し、鬼神を率ゐて法令を立て、よくその中を執りて民と共に苦しみ民と共に楽しむ事を知るべし。

Ⅲ-C（歴史学研究指導 日本史3）

初期議会期における帝国議会と藩閥政府の関係はどのようなものだったか、論じなさい。

Ⅲ-D（歴史学研究指導 東洋史1）

明清時代の銀と幣制の関係について、その推移と特徴を具体的な事実に即して論じなさい。

Ⅲ-E（歴史学研究指導 東洋史2）

チベットが「国」として承認されるために1913年におこなった一連の外交について、最新の研究を踏まえて論じなさい。

Ⅲ-F（歴史学研究指導 西洋史1）

14世紀半ばのペスト大流行がヨーロッパ社会に与えた影響について、多角的に説明しなさい。

Ⅲ-G（歴史学研究指導 西洋史2）

ソ連解体について、複数の要因に言及しつつ、その経緯を論じなさい。

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

Ⅲ－H（地理学研究指導 自然地理）

1. 以下の図について詳しく説明し、過去の災害との関わりについて述べなさい。

※この部分は、著作権の関係により掲載できません。

2. 以下の事項について、それぞれ説明しなさい。

- 1) 火山フロント
- 2) 「ゼロメートル地帯」の形成
- 3) 約2万年前の関東地方
- 4) 2019年東日本台風

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

Ⅲ-I (地理学研究指導 人文地理1)

1990年代以降の大規模小売店舗の立地動向について、関連する政策名・法律名や社会環境の推移等に触れつつ説明しなさい。

Ⅲ-J (地理学研究指導 人文地理2)

国境を超えて移住した人々(移民)が移住先の社会で集住地を形成するメカニズムについて論じるとともに、移民の集住地の事例を複数取り上げ、説明しなさい。

Ⅲ-K (政治学研究指導)

子どもをめぐる現代的問題について、憲法学の視点から論じなさい。

Ⅲ-L (経済学研究指導)

マルチファクターモデルについて、裁定価格理論、資本資産価格モデルとの関係に言及しながら説明しなさい。

Ⅲ-M (社会学研究指導1)

以下の2問からひとつを選択して回答しなさい。

(1)「共同体的な関係や集団」とは一般にどのような関係や集団を指すのかを説明したうえで、現代都市社会における共同体的な関係や集団のあり方や機能について、具体的な事例をあげて論述しなさい。

(2)「進歩」や「発展」という考え方が近・現代の社会において果たしてきた役割を説明し、現代におけるこれらの考え方の可能性と限界について論述しなさい。

Ⅲ-N (社会学研究指導2)

戦争史や政治史・経済史・社会史、あるいはメディア史・技術史といった歴史学的アプローチとの差違に留意しながら、現代社会における「戦争の記憶」研究の意義を論じなさい。

Ⅲ-O (メディア・コミュニケーション学研究指導)

メディアに関する技術決定論と社会構成主義(社会構築主義)について説明し、それぞれ具体的な事例を示しながら、それらの概念の有効性あるいは限界について論述しなさい。

2026年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

問題IV 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学、メディア・コミュニケーション学の各研究指導の志願者は、次の a、b のうち 1 問を選んで答えなさい。

IV-a 社会系教科（社会科・地理歴史科・公民科）における地図の活用方法について述べなさい。

IV-b 日本の高校教育課程における社会分野の教科が地理歴史と公民に分けられて久しい。分けることそのもの、ならびに現状の分け方について、メリットとデメリットを述べなさい。その際、どのような視点や立場からのメリット・デメリットであるかを明確にすること。

研究指導	
教員名()	
受験番号	
氏 名	

2026 年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験 解答用紙
【専門科目】 【社会科教育専攻】

大学記入欄

問題番号

